授業和	科目名	001b	(二学系)	授業対象生	4	
授業	日時			授業場所		
授業法	テーマ		□□分析法			
授業	目標		・の法則について説明できる。			
		□□□□分	析に用いる装置の原	理を説明できる	0	
		有機化合物	および無機化合物の	・・・について	説明できる。	
時間	組み	立て・構成	内 容 0	の要点		教 材
15分	前回の	復習	・前回授業のアウト	ラインを概観す	-る	パワーポイント
	本日の	予告	・本日の授業内容・	目標の確認		
20分	講義		・□□□□□□の法	則の概要を解説	色する。	教科書
			□□□□□□□の式	こを導出し, 各ノ	ペラメータの	パワーポイント
			物理化学的意味を	解説する。		配布資料
20分	講義		□□分析に用いる	装置原理につい	て解説する。	教科書
			装置基本構成			パワーポイント
				イプ		配布資料
			□□□□□□タイプとその利点			
20分	講義		・有機化合物および	・ 無機化合物の光	ピ吸収につい	教科書
			て解説する。			パワーポイント
			発色基・助色基	:		配布資料
			深色移動・浅色	移動・濃色効果	!・淡色効果	
			□□□吸収バン	ド		
			□□□吸収バン	ド		
			□□□吸収バン	F		
			□□□係数との	関連		
5分	次回予	——— 告	・次回予告			教科書
			次回講義用資料を	配布して内容を	と予告すると	パワーポイント
			ともに,予習用の	レポート課題を	示す。	配布資料
10分	まとめ		・確認テスト			小テスト

授業科目名	000	○○(工学系)	授業対象生				
授業日時			授業場所				
授業テーマ		□を用いた演算□	可路				
授業目標	授業目標 ・ □□□□		を用いた各種演算回路について説明することができる.				
	具体的な	な演算回路につい	ハて計算するこ	とができる.			
時間組み	立て・構成	内 容	の要点	教	材		
15分 予習 ラ	チェック	事前に行った。	た予習ノートを	固別にチェ			
		ックする(P	内容を確認し,『	取り組み状			
		況に応じて原	成績に反映する)				
15分 確認ラ	テスト	前回の授業	内容(□□□□□□	の性質と基小テスト	<u> </u>		
		本回路)に	関する小テスト	およびその			
		解説を行う.	また,前回の	内容に関す			
		る疑問点につ	ついての解説も行	〒う.			
3分 導入		本日の授業の	の目的・目標を打	是示し,授板書			
		業内容と進む	め方について説明	明する.			
40分 教科	書の内容に	事前に予習	してきているこ	ンを前提板書			
沿って			交って講義を進む				
	C 111 420	,	こ最大限の理解				
			は学生が板書や				
		,	ナに集中するこ。				
		うにする. 』	具体的には、講	義内容で重			
		要な部分や一	予習で分からなれ	かった部分			
		について, =	予習したノートに	こメモする			
		程度に留める	るようにする.				
15分 演習		・ 今回の授業		単な演習を課題(ん	Δ5 サイブ		
		7回ジ及来ド 行う.		の用紙を			
		14 2 *		~ > / I1 / IA/ (- HUI 1 /		
2分 まとめ	5	・ 次回の内容を	を予告し,予習信	箇所につい 教科書			
		て教科書を使	吏って説明する.				

授業和	斗目名	0000		授業対象生		
授業				授業場所		
授業を	テーマ	再生可能	エネルギーの歴史	こ、エネルギー	- 密度につV	いて
授業	授業目標 ・21世紀の		D環境対応エネルギ ^ー	ーについて説明	することがて	
		21世紀の	環境対応エネルギー	-について社会の	の構築に必要	な事項を述べること
		ができる。				
時間	組みて	なて・構成	 内 容 (教材
	導入	7 (111/2/	・本日の講義の予定	· ·		P P T 資料
• ,,	1,1,7		毎回の出席と小課			
			7,7 - 7,77 - 7,77	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
- /\	24 E. 6.	10. 5 d d d d	工作工作。	•		
5分	則凹の。	おさらい	・再生可能エネルギ			PPT資料
			発電分野について			
25分	講義		・再生可能エネルギ	:		PPT資料
			熱利用分野につい	て		
15/\	課題		 ・小課題を出す			A4 1/2を配布
15分			・小味趣を出り (10分ほどの解答	は問わ与うる		
			答の一例を示す			
			エネルギーの種類	,	经系	
			17. (12/12/9)			
25/\	誰羊		・再生可能エネルギ	この歴史につい	· – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	PPT資料
25分	講義		・丹生り能エイルイ		, (17 1 頁付
15分	課題		・小課題を出す			A4 1/2を配布
10//	14个尺型		(10分ほどの解答	時間を与える		
			答の一例を示す			
			エネルギーに関っ	,	って課題で学	
			\$50	· - · <u>·</u> · · ·		
			まとめと次回の予	告をする。		

授業	科目名	0000学	(医療系;栄養学)	授業対象生			
授業	日時	_		授業場所	,		
授業	テーマ		□□と栄養				
授業	授業目標 ・□□□□□]□について説明することができる。				
		• △△△△△	△の概念を説明するこ	ことができる。			
時間	組み	立て・構成	内 容 0	ク 要 点		教 材	
5分	導入		・本日の授業内容・	目標の確認		パワーポイント	
15分	講義		·	 口について	か科	パワーポイント	
10),	11772		家試験に出題され			7 7 7 7	
			Str restruction in the Care	V D 1 1 1 2 0 C 1 C	-/1THUL / 00		
30分	講義		· 000000000000000000000000000000000000)関連や□□	パワーポイント	
			□□機構について	解説する。			
10/\	ゴ , フ ,	A 3 / 3 /	○○労の押入た道	コーシャンター・	5.公羊主に 6	ナロノ1 ギ · ド	
10分	アイヘ	カッション	・○○学の概念を導いて、どのような				
			組のグループでデ			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
			話し合った内容を	•	, - 0		
			る。	7,7,1,7,7,1	に似自己と		
00.1	274 11 2	1. 7 -0 : 10	-	د ماریان می ر	- 12° ,0		
20分	字生に	よるフレゼ	・上記のディスカッ				
			とにプレゼンテー 応答する。(1 グ				
			心合する。(1ク	ルーノめにりる	(万怪皮)		
10分	まとめ		・○○学の基礎研究		を紹介する。	パワーポイント	
			・本日の内容のまと	めと次回予告			

科目名	△△学概論	(医療系;医学)	授業対象生		
授業日時			授業場所		
テーマ	再生医療	の担い手としての	iPS細胞		
授業目標 ・□□□□		l□□の□□とiPSテ	細胞の仕組み	を説明でき	る。
	• 再生医療	への応用を概説で	ぎきる		
組みら	立て・構成	内 容 0	つ 要 点		教材
前回の	授業の復習	・□□□□□□、条件付き□□□□□□□の・・・			パワーポイント
導入		方法の復習			プリント
		・本日の授業内容と	小レポートの説	的	
講義		・□□□編集技術の	 概要		パワーポイント
		・□□□□□□シス	テムの説明		プリント
		・□□□□□□の説	.明		
小レポ	ート	- 次世代の遺伝子改		 C考え、レポ	レポート用紙A4サ
					イズ
講義		・生物界に見られる	再生能力の概説	Ź	パワーポイント
		・□□□□細胞と□	□□細胞の違レ	いについての	プリント
		概説			
		□□□□□につい	ての概説		
		・□□細胞の概要と	再生医療の応用	目における問	
		題点の解説			
		・□□化・□□□□	■動物・□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□□細胞の	
		解説			
		・iPS細胞樹立の経緯	韋・概要・臨床点	広用と問題点	
		の解説			
		・ □ □ □ □ □ □ プロ	グラミングの説	的	
		・□□□□□法の解	説		
まとめ		・本日の内容のまと	めと次回の授業	美内容の確認	
		・小レポートの提出	I		
	日 テ 標 組 順 み の は よ が 議 ま が よ も で は も で は も で は も に は は に は に は に に に に に に に に に に に に に	日時 再生医療 再生医療・再生医療・再生医療・再生医療・再生医療・再生医療・再生医療・事性を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	日時	日時	日時

授業科目名 □□□□学		2(医療系;歯学)	授業対象生		
授業			授業場所		
授業	テーマ・・・・・	による□□□□法	(TBL講義)		
授業	できる[· 伴う・・・・領域の コアカリ: Z-9-9)-(の製作過程における	9)-99]		
時間	組み立て・構成	内 容 0)要点		教材
10分	導入	本日の授業内容と	進め方に関	する説明。	確認テスト 予習レジュメ
	確認テスト① (個 人問題)	事前に配布した資業内容に関する確 (・・・・国家試験 知識内容を問うも	認テストの 験問題の利用	実施。	教科書・参考書等
20分	解答と補足説明	確認テストの解答た補足説明を行う ※実際の臨床的側込んで説明する。 ※具体性を持たせ真を利用すること 回の講義に関する解説する。	。 側面に沿った るために、多 や、講義の	内容も盛り 3くの臨床写 後半にて、今	講義スライド
15分	TBL 確認テスト② (グ ループ課題)	4~5人グループ ②によるグループ 各班で課題に対す 代表者が発表でき ※確認テスト①よ う問題とし、臨床的 考プロセスを経験	課題に取り る答えをま るよう準備 りも、臨床的 的な判断に至	組ませる。 とめさせて、 する。 りな内容を問	
12分	TBL 課題の発表	各課題に対する答 発表させて、その ※発表班以外のメ ※理論立った説明	内容を全員ンバーから	で吟味する。 質問させる。	確認テスト②
3分	本日のまとめ	課題発表のまとめ 必要があれば補足			講義用スライド

授業和	斗目名	○○学入	.門(社会学系)	授業対象生				
授業日	∃時			授業場所				
授業を	テーマ	00学と	は何か					
授業制	授業目標 ・○○の複		雑性・多様性について説明できる					
		・マイクロ	ディベートを通じて政策論議を行うことができる					
時間	組み立	7.て・構成	内容(教材		
3分	導入		・本日の授業概要の説明		配布レジュメ			
7分	復習		前回までの授業に	こおけるポイント	の確認	配布レジュメ		
15分	講義		・○○の複雑性・多	様性に関する概	その解説	配布レジュメ		
			・各概念を分かりや	っすく伝えるため	りに簡単な事			
			例を踏まえつつ解	説する。				
8分	ワークの説明		・マイクロディベー	-トの解説		配布レジュメ		
12分	ワーク	の方法につ	・ディベートのやり	方について見本	ぶを示す	配布レジュメ		
	いての個	剂示	・数名の学生に協力	してもらう		ワークシート		
			ワークシートの記	2入方法の説明				
40分	ワークの)実施	グループ分け(3)	人~4人1組)		配布レジュメ		
			課題についてのテ	,	<u>t</u>	ワークシート		
			・テーマを変えて3[
			・1回ごとに講評を行	行う				
5分	まとめ		授業全体の講評			配布レジュメ		
			・次回の授業内容の)予告				